

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ディスカバリークラフト		
○保護者評価実施期間	2024年11月3日		2024年11月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48 (回答者数)	32
○従業者評価実施期間	2024年11月18日		2024年11月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムの内容や時間、年齢やご成長に応じて興味を持って取り組んで頂けるよう、個別対応や集団活動の中で、ご支援の方向性を定めている。	生活動作に必要なSSTの要素を取り入れ、粗大運動・微細運動も積極的に取り組んでいます。個別学習支援については個々に沿った学習支援となっています。小学校の低学年の発達段階に必要なプログラムが充実しています。	お子さまの成長や運動発達段階、年齢等を考慮しながら、どの曜日においても視覚支援の充実やプログラムの精査に加え、居心地の良い環境づくりを大切にしています。
2	一貫した支援が幼少期から、成人になるまで受けれることができる。	移行支援についても力を入れており、まず自施設の併用事業所を知って頂くための交流会を開き、先輩保護者様の意見などを直接聞かれる場を設けております。	保護者会やペアレントトレーニング、フェスティバルを開催し、交流会や意見交換・子供との関わり方の相談・進路や進学相談の支援をしております。今後も、機会を設けながらご家庭の皆様に向けてより良い情報発信や環境を整えて参ります。
3	社内の併用事業所間との密な連携がとりやすい。	ケースの情報共有、併用事業所への移行がお子様の成長が伴った時期に、丁寧に行え親御様が関係性・信頼関係を築きやすい。	児童の発達状況に応じた、サポートの必要性を鑑みたプログラム案内の充実をはかり、学校との連携した取り組み方等を知り、学校との情報共有に今後も努めて参ります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	【家族支援】 ①保護者会の活動の支援 ②保護者会等の開催等による保護者同士の交流の機会	【開催日程や時間設定等の調整】 各ご家庭における、保護者様のお仕事の都合や、予定の確定において難しい課題と感じております。	【頻度を増やす】 事業所内の保護者会を設けていきたいと思っております。 【ITを活用していく】 たくさん保護者様にご参加頂くためにzoom等のITを活用しながら家族支援を実践し、必要に応じて場所の設定や交流の機会を設けていきたいと思っております。
2	発達段階が低年齢の児童のプログラムの充実	発達段階に応じた個々に対応するプログラム	発達段階において、ケース会議を行い何のプログラムが必要であるかを把握し、共有していきたいと考えています。
3			